BASEBALL COLUMN

ベースボールコラム

特別連載 vol.35

公益財団法人 野球殿堂博物館

ファンミーティングでの見学ツアー

2017年11月25日（土）、野球殿堂博物館にて「日本プロ野球OBクラブ ファンミーティング」が開催されました。OB会員の田淵幸一氏、石毛宏典氏、高橋慶彦氏、宇野勝氏がゲストとして登場、72名の賛助会員様には、4班に分かれ各ゲストと当館スタッフによる、約45分の館内見学ツアーに御参加いただきました。

常設展示・プロ野球の歴史コーナーには、田淵幸一氏の通算444号ホームランバット、石毛宏典氏の西武時代使用バット、高橋慶彦氏の日本記録である33試合連続安打記念楯、宇野勝氏の中日時代使用バットを展示しており、案内役である我々スタッフにとっても、ご本人の生の説明を聞きながら実物資料を見学するという“プライスレス”な経験をさせていただきました。

ちなみに田淵氏のバットは、1988年の移転新装開館に際し田淵氏からご寄贈いただいた資料です。この「444」という数字は、長嶋茂雄氏の通算本塁打記録で、この記録に並んだ際のバットです。

この記録を田淵氏は西武時代1983年5月26日の阪急戦で達成しました。翌日の新聞には「中学時代から目標だった」、「（長嶋さんが）僕に夢を与えてくれた」とのコメントが記載されています。田淵氏は法大時代に、長嶋氏が立大時代に樹立した東京六大学の通算最多本塁打記録（8本）を大幅に更新し、22本の記録を打ち立てています。その目標である長嶋氏を追うようにプロ入りし、プロでの記録に並んだ際のバットを、特に記念としてご自身で保管していたとのことです。このバットは引き続きプロ野球の歴史コーナーで展示中です。ぜひご覧ください。

ゲストの田淵氏、石毛氏、高橋氏、宇野氏

ご自身のバットの前で語る田淵氏と当館廣瀬館長（右）

公益財団法人 野球殿堂博物館
学芸員　関口貴広